

高速道路を安全に利用するために

交通事故や車両故障等の緊急事態が発生した場合は、後続車に対する安全措置を執った後に、ガードレールの外側等、道路外の安全な場所に避難しましょう。安易に本線車道上に立つことは絶対禁止です。

【後続車に対する安全措置】

- 停止表示器材（三角表示板等）を積載して、緊急事態に備えましょう。
- 携帯電話や非常電話で緊急事態を道路管理者等に通報し、レッカー手配等を専門家に依頼しましょう。
- 後続車の運転者が、故障車両等に気付いているとは限りませんので、故障車両等に忘れ物を取りに戻るのはやめましょう。

高速道路は特殊な道路です。走行する際には、十分な事前準備と適度の緊張感が必要です。

【事前準備】

- 体調を整え、運行計画を練り、必要な情報を入手しましょう。
- 車両の点検（オイル・タイヤ・冷却水等）を確実にいきましょう。
- 燃料を点検し、早めに補充しておきましょう。
- 積荷の点検をして、落下物事故を防ぎましょう。

追越車線ばかり走行していると通行帯違反となり、速度超過違反や車間距離不保持違反の原因にもなりやすく、目の危険に素早く対応できません。

追越しが終了したら、その都度走行車線に戻り（キープレフトの原則）、安全速度と車間距離を確認することが大切です。

【重大事故に直結する交通違反】

- 速度超過……………本線車道上に停止車両があっても止まれません。
- 車間距離不保持……………頻繁なブレーキ操作は、後続車に対する危険が増します。
- 携帯電話使用等……………路肩に止まって通話しても駐停車違反になります。
- 座席ベルト装着義務違反…全ての座席において着用の義務があります。

電光表示板やハイウェイラジオ等で幅広く情報を収集し、進路前方の危険をいち早く察知することが大切です。

【情報収集のポイント】

- 故障車・事故・落下物ありの表示を確認したら、走行車線に戻り、速度を落とすなど、特に注意して走行しましょう。
- いつもより低い速度規制がされている場合は、近くに異常があると考え、注意しましょう。